

平成 30 年度中濃支部学術研修会活動報告

日時：平成 31 年 2 月 3 日（日） 13：30～16：45

場所：美濃市立美濃病院 検診棟 2 階 みの健康ホール

テーマ：「内部障害の理学療法 ～介入に向けた基本的知識の整理～」

講師：岐阜保健短期大学 小池 孝康 先生

春寒しだいに緩むころ、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度、関・美濃地区では、岐阜保健短期大学の小池孝康先生をお招きして、学術研修会を開催いたしました。参加者は 28 名で、中濃支部以外からも多く参加していただきました。今回の研修会は、冒頭に実際の症例の胸部レントゲン画像、血液データなどを提示していただき、参加者でペアになって、検討するところから始まりました。

今回のテーマは、「内部障害の理学療法 ～介入に向けた基本的知識の整理～」ということで、座学のみ構成でしたが、最初に実際の症例について考えることで、自分に不足している知識や忘れてしまっている部分が明確になり、座学のみでも目的意識をもち、集中して参加していただけたのではないかと思います。小池先生も入職当時は、内部障害に対して苦手意識があったとのことでしたが、自分自身も同様の思いがあります。その要因として挙げられたのが、障害像の不可視部分が多いことや、臨床検査所見の把握が不可欠なことなどから、障害像全体をつかむことが難しくなっているとのことでした。やはりどのような疾患についても同じですが、障害像をしっかりと把握することができなければ、安全に効果的なリハビリテーションが提供することは難しいと思います。

今回の研修会で、内部障害についてすべての知識を確認・整理できたわけではないと思いますが、研修会に参加していただいた先生方それぞれが、確認しておくべき点や必要な病理・病態の専門的知識の重要さに気づくことができたのであれば、大変意味のある時間になったのではないかと思います。

最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の研修会の講師をしていただいた小池先生に感謝の意を申し上げます。

美濃市立美濃病院 リハビリテーション科
片桐 由浩